THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y’S MEN’S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「信念のあるミッション（使命・目標）」“Mission with Faith”
アジア地域会長主題	「愛をもって奉仕をしよう」 “Through Love ,Serve”
西日本区理事主題	「あなたならできる！きっとできる！」 “ You can do it! Yes,you can!”
中部部長主題	「踏み出そう 次の一歩のための今の一歩を」
金沢クラブ会長主題	「新しい一歩を踏み出せば、二歩目は自然についてくる」

2015 11 月間強調 Public Relations Wellness

今月の聖句（担当 藤井 辰男君）

すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。

詩篇 47 篇 2 節

11 月強調月間

ワイズデーを広報して、ワイズメンズクラブの社会的認知度を高めて、EMC やクラブの活性化につなげましょう

加藤信一広報・情報委員長
（京都トップスクラブ）

11 月例会 プログラム

とき　2015 年 11 月 19 日（Thu.）18:30～20:30
ところ　金沢ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ
会費　¥3,000(会員不要)　¥2,000(ﾒﾈｯﾄ)

司会　幸正一誠君

開会・点鐘	清水淳会長
主題	司会者
ワイズソング	一同
今月の聖句	司会者
ﾊｯﾋﾟｰﾊﾞｰｽﾃﾞｲ	清水淳会長
ゲスト紹介	澁谷洋太郎君
食前の感謝	澁谷洋太郎君
スピーチ	山田裕氏
	“金沢市中央卸売市場について”
委員会報告	各委員
ニコニコタイム	山本達也君
ＹＭＣＡの歌	一同
閉会・点鐘	清水淳会長

会長	清水 淳	書記	山内ミハル
副会長	澁谷洋太郎	会計	伊藤仁信
直前会長	幸正 一誠	ﾒﾈｯﾄ会長	数澤淑子

11 月 クラブ活動状況

第１例会（10 月 15 日 Thu.）

メン：朝倉、伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、西、藤井、山内、山本　(10 名)
出席率：100 ％
メネット：伊藤、数澤、澁谷、山本　(4 名)
ゲスト：山田圭一氏ご夫妻・ご息女　(3 名)

第２例会（10 月 1 日 Sat.）

メン：伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、山内　(6 名)
メネット：　(0 名)

ニコニコタイム　１３，０００円
クラブファンド　累計　４７，０００円

ＢＦポイント

切手	120ｇ	累計	1,180ｇ
現金	0 円	累計	0 円

第一例会：毎月第三木曜日　18:30～20:30
金沢ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ　Tel (076)233-1311
第二例会：毎月１日　18:30～20:00
金沢ﾆｭｰｸﾞﾗﾝﾄﾞﾎﾃﾙ　2F （トレド）

「幸せなら手をたたこう」

藤井　辰男

“幸せなら手をたたこう　幸せなら手をたたこう
幸せなら態度でしめそうよ
ホラみんなで手をたたこう”

みんなに親しまれているこの歌。私たちはキャンプや集いで「幸せなら手をたたこう」をよく歌います。10年前、この歌を作詞された木村利人さん（早稲田大学名誉教授）の記事がYMCAより紹介されました。読んで歌に秘められた思いや願いを知り、驚きと感動を受け喜びに満たされました。

その記事を紹介します。

「学生時代の1959年、私はフィリピン、韓国、日本、米国、ドイツ、マレーシア群島などの学生たちによる、フィリピン農村でのワークキャンプに日本代表として参加した。当時はまだ、太平洋戦争で激戦地となった惨害の傷跡や記憶もなまなましく、激しい反日感情も残っていた。

酷暑の中で、毎日トイレット用の穴堀り作業で共に汗を流し、朝夕には聖書を読み祈り合い、現在の『平和の幸せ』を感謝し、平和を『態度に示そう』と誓い合った。フィリピンの人たちが、本当に『態度に示して』私たち日本人学生に心から親切にしてくれたことに感動した。私は、感謝の気持ちもこめて、キャンプの合宿所だったパンガシナン県の小学校の校庭で村の子どもたちが歌っていた伝統的なスペイン民謡曲に、日本への帰りのフランス貨客船の中で詩をつけた。

帰国後、大学やＹＭＣＡの仲間によって歌われはじめ、東京オリンピックの年に日本をはじめ世界的にも大流行したのが『幸せなら手をたたこう』という、私が作詞した歌なのだ。実は、歌詞の出だしの言葉のヒントとなったのは、英語の旧約聖書・詩編47の一節だった。私の当時の日記には『さあ、手をたたきましょう。みんなで、大喜びの声を上げて、神に届くまで声を出しましょう！』と記してある。

フィリピンＹＭＣＡワークキャンプで世界諸国の友人たちと共にこの詩編を英文で読んだ時のことが忘れられない。」

歌の原点が「聖書」であり「平和」なのです。また、出会いが「ＹＭＣＡ」であったのです。いかに平和を待ち望んでいたことか、感謝と讃美の叫びが私たちにひしひしと伝わってきます。

「私たちは、アジア・太平洋地域の人びとへの歴史的責任を認識しつつ、世界の人びとと共に平和の実現に努めます。」と日本YMCA基本原則に掲げられています。今も紛争が絶えない中、キリストの平和をすべての人々と共に喜び合えるよう“幸せなら手をたたこう……”のメッセージを世界中の人々に届けましょう。

「すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。」　　　　（詩篇47篇2節）

山田（やまだ）　裕（ひろし）氏 プロフィール

1957年8月7日生まれ。
横浜国立大卒。
昭和60年金沢市役所入庁、約30年の市役所生活の内、半分以上教育委員会で学校教育に従事し、平成10年に文部省に派遣。
その他会計課、監査事務局に勤務。
平成26年から市場事務局に勤務。
現在、金沢市中央市場事務局次長。

Happy Birthday

山本　達也君	11月17日
伊藤　悦子さん	11月15日

【10月例会報告】

10月は、障害者スポーツに取り組んでおられる山田圭一氏にスピーチをお願いしました。

山田氏はまず、幸正さんとの思い出から、話始められました。まだ小学校に入学する前、時々幸正さんが家に来られたこと、その度に何かお土産を持ってきてくれたこと、その中で忘れられない一つの思い出がある。

ある日、学校から汗だくで帰ってきたら、幸正さんがヨーロッパのお土産に、アップルジュースをくれた。200mgのジュース2本。1本はグーッと一気に飲んでしまった。本当においしかった。あと1本はすぐ飲んでしまうのが惜しくて、冷蔵庫の片隅に小さな箱を置き、

その中において、毎日学校から帰ると一舐めずつ、ちびりちびりと……。それを見ていた曾祖母が、毎日冷蔵庫の前でニヤニヤと何しているのかと訝っていた。その頃の幸正さんはよく遊び相手になってくれ、新しい驚きと感動を与えてくれた。

高校卒業後、東京の大学へ。4 年後、小学校教員を目指して、県の教員採用試験を受けたが失敗し、大学院に戻った。大学の近くに、養護学校と、日本で２番目にできた身体障害者の施設があり、そこに勤めていたバイト先（喫茶店）のママさんの勧めと教員になることの迷いから福祉の世界に入ることになった。

障害のある方の施設に、初めはボランティアで、間もなく臨時職員となり、障害のある方々と、飲みに行ったり、デパートに行ったり、時には野宿をしたり……そのことを通して自分の思っていた世界の小ささに気づかされた。障害のある方々と一緒に活動したいとの思いから、東京都の福祉局に入った。

母が体調を崩し、U ターンして、現在に至る。

オリンピックと言えば誰でも知っているが、その他に○○ピックと呼ばれるものに、下記の３種がある。

デフリンピック：聴覚障害者の競技で、1924 年から始められた。

スペシャルオリンピックス：ケネディ大統領の妹が私財を出してはじめた、知的障害者の競技

パラリンピック：視覚障碍者と身体障害者の競技で、1960 年ローマ大会が第１回となった。第２回は 1964 年 11 月８日～５日間、「国際身体障害者スポーツ大会」という名称で、東京代々木公園で開催された。2020 年には再び東京で行われるが、同一地域で２回開催されるのは世界中で日本だけである。

続いて資料の写真により、パラリンピックの競技に使われる車椅子、義肢・義足等の説明、選手の横顔について紹介があった。

車椅子、義足などの費用はすべて自己負担で、選手の負担は大きい。だんだん良い性能のものがでてきており、中には一般の選手よりも速い記録を持つ選手もいる。

石川県では、平成３年の国体の時、たくさんの選手を養成したが、24 年たった現在、ほとんどの人は年齢が高くなり、しかしまだ現役で活動している。若い人が出てこないのが課題。

「現在、障害者のスポーツ指導者として活動しているが、本日読まれた冒頭の理事、会長の主題に感動。練習に来てくれる子ども、保護者にホッとしてもらい、

笑ってもらえて、また来ますと言ってくれる言葉が次へのステップとなり、それを支えとして、活動していきたい。障害者スポーツに関心とご理解をお願いしたい」と話を結ばれた。（文責　山内ミハル）

【滋賀蒲生野クラブとの交流会】

（その１）

滋賀蒲生野・金沢クラブ合同例会はビックリポンや！

幸正　一誠

10 月 17 日（日）～18 日（月）の両日、滋賀蒲生クラブとの合同例会が開催されました。前会のコンセプトは「海」。今回は「山」とし金沢の奥座敷・湯涌温泉をご案内致しました。

初日は 11 時近くにドラッグストアーにて合流し、先ずは、海の香りをと、金沢港・いきいき魚市場をご案内。旬魚の口細カレイやイカを、何人かの方がご自宅へと宅配されていました。昼食は金沢港近くの寿司処・菊屋にて、甘エビなどの握り寿司を食べて頂きました。

その後、金石（かないわ）街道を経由し近江町市場・金沢のウオール街・香林坊・赤レンガの旧第四高等学校・旧県庁・石川門と兼六園を車窓からご覧頂き、初秋の湯湧街道を例会場と向かいました。そうそう、兼六園近くで、山本ワイズ家（当クラブ洋風別館）と伊藤ワイズの御隠れ場所をご案内致しておきました。

竹久夢二館の前で

湯涌温泉では、当クラブと合流し竹久夢二館を見学して頂き、16 時より合同例会開始。

規律正しく合同例会終了、乱れる前に

此処からが「ビックリポンや！！」の始まり。渋谷副会長の開会点鐘、山本ワイズの開会祈祷、東会長挨拶と続き「両クラブ会長よりメンバー紹介を」とアナウンスした時、当クラブのＹワイズより「各自より一言お話を」との一言。私はこの『一言』を耳にし心中は「ビックリポンや！」を何回叫んだ事か！役員会にて各自紹介を「ハッピーアワー」とする旨を提案した折、そのＹワイズより「時間不足」を指摘され却下。その御方より突然の一言。ビックリポンや！！

しかし、その『御声』の御蔭で笑有り、質問有りのワイワイ・ガヤガヤと楽しい合同例会を時間不足に成らずに、東会長の閉会点鐘にて終了。この後は「ニューヨーク（入浴）」へ。

親睦の時は、乾杯後美味しい料理を頂ながら懐かしい皆様との一時を過ごし、当クラブより歓迎の意を込めて渋谷節子メネットの日本舞踊「山中節」が披露されました。

皆様との会話の進む中、又、Ｙワイズより「カラオケ歌いましょう」の「御声」有り。この件も役員会でＹワイズより「会話の邪魔よ」の一言で却下。はたまた「ビックリポンや！」。一人歌い又、一人と歌の輪が迷？司会者により進められると、山本ワイズがノンアルコール状態にて初カラコケ､「ビックリポンや！」。滋賀蒲生クラブの中にも初カラオケの方がおられ「ビックリポンや！」。満を持して伊藤ワイズ登場を期待したところ、本人より胸に膏薬を貼る程の不調にて辞退の申し出有り。保護者・悦子メネットよりも強いお達し有り。

が、しかし、主治医山本クリニック院長に保険を掛けご登場。「ビックリポンや！」。

あら、まだお酒飲んでなかったの？
どれだけ飲んでも素面の方々！

たまたまくじ引きで隣り合わせただけの面々

最大の「ビックリポンや！」はあのＹワイズが三原ワイズと仲良くダンス。と、カラオケも。ビックリポンや！！しかし、Ｙワイズの「御声」の御蔭で心温まる笑に満ちた楽しい親睦の時でした。

こちらは相当出来上がっています

二次会は部屋にて。此処でも、「御つまみが無い」のＹワイズの「御声」により美味しい御つまみが用意され、二部屋の冷蔵庫のＢＥＥＲが無くなる程、飲み・食べ・会話し両クラブの交流を楽しみました。いつもは静かな湯涌の里に歓声とビックリボンが響き渡る、星の美しい夜でした。「ビックリボンや！」に感謝！！

一夜明けて、清々しい山の朝

（その２）世界遺産「五箇山合掌造り集落」散策

数澤　輝夫

19 日は「お宿やました」を午前９時に出発。金沢から世界遺産「五箇山合掌造り集落」へ約 50 分、滋賀蒲生野クラブ 11 名ご一行と、金沢クラブは清水会長、数澤夫妻の３名で五箇山の上梨地区にある「村上家」を訪ねました。「村上家」は、国指定重要文化財合掌造りに指定されています。

囲炉裏を囲んで

約 400 年の歴史のある旧家の囲炉裏端で「薬草茶」を美味しく頂きながら、昔さながらの装束姿のご主人が話してくれる五箇山での生活の様子や民族文化を聴きながら、遠い昔の人々の暮らしに想いを馳せました。また五箇山は「民謡の宝庫」とも言われ、いつ頃から誰が歌い始めたものか、民謡の数多くが口頭伝承によって現代に受け継がれており、代表的な「こきりこ節」や「麦や節」は無形文化財に指定されています。囲炉裏端で「こきりこ節」の音に合わせてシャキ、シャキと「こきりこ」をならしながら踊り続ける様子に参加者一同我を忘れて観る聴く感動の一時でした。その後、

こきりこ節を踊る

当家の中を見学しながら、当時の生活の様子を知る事が出来ました。昼食は幸正さんが予約しておいてくださった国民宿舎「五箇山荘」の「豆腐ステーキ定食」がとても好評でした。豆腐ステーキのお味噌が美味しかったから売ってないかしらと売店を探すがオリジナルらしくありませんでした。午後は相倉合掌造り集落内を自由に散策しました。山々の紅葉は始まったばかりでしたが、秋晴れの清々しい山の空気と足元の草もみじや可愛い草花に心いやされて会話も弾み、合掌造りの里の散策を楽しむ事ができました。まだまだ名残はつきませんでしたが、また来年の合同例会では滋賀蒲生野でお会いしましょうと約束をして帰路に着きました。

合掌造りの村上家の前で

12 月の担当

聖 句 担 当	：土肥　聡牧師
ブリテン執筆	：山内ミハルさん
	山本　典子さん
卓 話 担 当	：藤井　辰男君

～～～～～～～～　**お 知 ら せ**　～～～～～～～～

☆「金沢クラブ特別基金」充実のための会費について

金　　額：一人６千円　（上期６ケ月分）

納入時期：11 月例会時（11、12 月分割可）

よろしく御協力くださるようお願いたします。

☆ながまちふれあいフェスティバル2015

日時: 11月29日(日)10:00～15:00

場所: 中央公民館長町館・長町緑地

金沢YMCA・金沢ワイズメンズクラブ・金沢犀川ワイズメンズクラブの活動紹介などの展示コーナーがありますのでお出かけ下さい。

☆BF献金のお願い

1人あたり1,500円

11月例会時に、BF献金をご持参ください

☆12 月第二例会の日程変更について

12 月は都合により第二例会を 11 月 30 日(月)6:30 と変更します。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜 メ ネ ッ ト 報 〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

最近の出来事から

去る 10 月 24 日（土）、金沢こころの電話創立 40 周年の記念式典が開催されました。1 年半前から準備にかかり、会場を金沢ニューグランドホテル（金扇）とし、記念講演に鳥取市内にあるホスピスケア「野の花診療所」所長で、ホスピス医の徳永進医師をお願いしました。金沢こころの電話の会員（約 250 名）、賛助会員（企業・個人あわせて約 100 名）だけではなく、一般の方々にも参加を呼びかけました。

午後 2 時　開会。会長　山内の挨拶の後、知事、市長、県議会議長の祝辞をいただき、大きなスクリーンにパワーポイントで映し出された写真で、金沢こころの電話 40 年の歩みを振り返りました。続いて、金沢で音楽活動をされている伊田直樹（チェロ奏者）、伊田多喜（ヴァイオリン奏者）夫妻の愉快なトークと演奏に耳を傾けました。ちなみに伊田ご夫妻の 3 人のお子様は、私の保育園の園児です。

15 分の休憩をはさんで、「いのちの家来」と題して徳永医師の講演。ホスピス医として多くの死を看取ってこられた医師の、事例を通しての講演は胸を打つものがあり、中にはハンカチを目に当てる会衆の姿もありました。遠からず終わりの日を迎える私自身も、考えさせられるものが多々ありました。これからの生き方についてと同時に、死に方についても、すべて主にお任せし、安心して穏やかに、そして感謝をもって死の床につきたいものだとの思いを新たにしました。

続いて席を階下の「銀扇」に移して、今度は会員・賛助会員のみで、祝賀会をしました。

三線（8 人）歌（2 人）と琉球踊り（4 人）のオープニングで華やかな幕開け。すべて会員とその友人たちのグループが奉仕してくださったものです。ここでも私が開会の挨拶をしなければならなかったのを、うっかり忘れて歌や踊りに吸い込まれていて、司会者から「会長にご挨拶を頂きます」と指名されてはっと我に返るという始末でした。食べきれないほどのたくさんのご馳走に舌鼓を打ちながら、会話に花が咲きました。

特に私にとって、教え子の親子が参加してくれたことは感動でした。彼女は在学中相当私の手を焼かせた子でしたが、それだけに可愛く、卒業後もずっとお付き合いが続いています。いま、アメリカのロスアンジェルスで仕事をしているのですが、ちょうど仕事で 1 週間帰沢していたのです。参加者全員の紹介はできなかったのですが、「珍しい人からひとことコメントを頂く」という司会者の求めで、彼女にマイクが回ってきたとき、「ミハルちゃーん！」と大声で私を呼び（場内大爆笑）、私をハグし、次に肩を組みながら「今日はおめでとうございます。母と参加できてよかったです。」と。そして少し現況報告をした後、「私の夢は、ミハルちゃんをロスに招待して、私の通訳でアメリカ旅行をしてもらうことです」といって、大きな拍手をもらったのです。私は本当に教師冥利に尽きる思いでした。お母さんも目頭を拭いていました。

久しぶりに、大きな感動をもらった 1 日でした。こころの電話の活動を、38 年間続けてきて、忙しい時何度か「やめようかなぁ」と思ったこともありましたが、止めないで頑張っていてよかったと思った 1 日でもありました。

（山内ミハル　記）

≪芋煮会のおしらせ≫

今年もメネット会恒例の「芋煮会」の季節となりました。

大野上庄村の里芋の手配も怠りなく、お天気に恵まれるよう祈っています。寒くなってまいりましたので、暖かい服装でお出かけください。

日程は下記のとおりです。

記

日　時：2015 年 11 月 7 日（土）10：30～14：00

場　所：金沢内川スポーツ広場

会　費：500 円

YMCA 少年会員はご招待（無料）

金沢クラブ会員は無料

持ち物：お椀、箸、敷物